【開幕直前インタビュー】

廣井友信

気負わずに

昨年、総理大臣杯優勝は逃すもリーグ優勝、インカレ優勝の二冠を達成した駒大。だが、三冠という目標は未だ達成されていない。三冠達成のためにはもっと意識を高めなければならないと話す廣井。そして、今年は“前に速く”に“考えるサッカー”プラスし新たなサッカーに試みるという。開幕戦へ向けて現在の心境を語ってもらった。

インタビュー●伊藤優香
写真●野澤俊介、川崎篤彦、斉藤卓也

一歩でも二歩でも・・・

―開幕戦を前にチームの仕上がりはいかがですか

1月の終わりからチームを立ち上げて二ヶ月くらい経つんですけど、昨年の4年生も数多く抜けて、一からのスタートで、開幕まで残り3日(注・インタビューは開幕戦3日前に行なった)くらいでそれなりにはいけるんじゃないかなっていう風にはなってますね。雰囲気もいいですし、いい感じだと思います。

―廣井さん自身の調子はいかがですか

僕はチームを離れる事が多かったんで、連携の面ではもう一つかなって感じなんですけど、個人の調子としては日輪戦なども含めてあまり良くなかったんで、もう一回見つめ直したいですね。

―主将になられて今はどんな心境ですか

責任感は強くなったのかな。チームを引っ張るというか、それはピッチ上でもピッチ外でもなんですけど、そういう所で見本になる選手にならなきゃと思ってます。

―主将なって意識していることはありますか。

あまり気負わないようにするっていうところですね。やることはたくさんあるんですけど、別に俺がやらなくても、4年生とか3年生とか手伝ってくれる奴はたくさん居るんで、そんなに気負ってやらないでまずは自分のプレーをしっかり出来るようにって思ってます。

―主将になった経緯を教えてください。

毎年選手で決めるんですけど、新4年生で集まってどうしようかって。それで、何人か候補に上がって、